

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について 2020/5/18

更新いたしました。赤字の部分に変更になった点です。

【原因ウイルス】

コロナウイルスは、多くは普通の風邪のウイルスです。そのような普通の風邪ウイルスが6種類あります。あと2つ、MERS、SARSという感染症の原因ウイルスがあります。中近東、中国を起源として、しばらく前に世界を脅かしました。今回の新型コロナウイルス感染症は、7番目の新しいコロナウイルスが原因です。

【症状・経過】

潜伏期間は1～14日間(多くは大体5日間くらい)とされています。

多くの感染者は、普通の風邪のような症状、すなわち熱、咳、倦怠感が主なもので、特に治療をしなくても1週間ほどで治ると言われています。もしくは全く無症状の場合もあるようです。最近では、味覚や臭覚の異常が見られる事もある、と言われています。8割の方は軽症で済むようです。重症になる場合は、発症から1週間くらい過ぎてから呼吸が苦しいなどの症状が出るようです。

致死率は、全世界では1～2%で、季節性のインフルエンザの約10倍です。特に高齢者や基礎疾患を持っている方は重症化しやすいと言われています。

【感染様式】

くしゃみ、咳、つばなどに含まれたウイルスを、口や鼻から吸い込んで感染します(飛沫感染)。

また、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手でもものに触れるとそこにウイルスが付きます。他者がその物を触って、ウイルスが付いた手で口や鼻を触っても感染します(接触感染)。

【感染予防】

せっけんによる手洗い、アルコール消毒で手指を清潔にしましょう。

咳エチケット(咳やくしゃみの時、マスク、ハンカチ、袖、肘の内側で口や鼻を覆う)を徹底しましょう。

日頃から、十分な睡眠やバランスのよい食事で、免疫力を保ちましょう。

【感染しやすい状況】

3つの密、すなわち換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、そして近くで会話する密接場面が感染しやすい事がわかっています。

【検査】

インフルエンザのような一般外来での迅速診断はできません。詳しい検査は喀痰を用いたPCR検査と言って、手間のかかるものです。しかし、現在日本国内では検査の実施に人数制限もあり、渡航歴、接触歴、診察などからより疑わしい人のみ行っています。最近各自治体で医師会等と協力してPCR検査センターを設置して、ドライブスルー方式やウオークスルー方式を取り入れ、検査体制を強化しています。したがって、医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑った場合には、PCR検査が受けやすくなってきました。

【心配な症状がある時は】

かぜ症状があるときは外出、登校、出勤を控えて、十分な睡眠とバランス良い食事に留意し、水分摂取を怠らず、安静に過ごしましょう。体温は朝・夕2回は測定し、記録してください。高齢者、基礎疾患(糖尿病、COPD、等)のある人、妊婦、免疫力が弱い人などはリスクが高いと言われています。

【次のような症状の場合は、かかりつけ医や帰国者・接触者相談センター等に相談してください】

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある
 - ②重症化しやすい方（高齢者、基礎疾患がある方、妊婦等）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある
 - ③発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く
- 以上のうち1つでもあれば、相談をしてください。これらに該当しない場合も相談は可能です。どこに受診したらよいか説明してくれます。受診する際はマスクを着用してください。マスクがない場合は電話で伝えてください。

【大切な事】

- ・基本的な手指消毒、咳エチケット、そしてバランスの良い食事と十分な睡眠
- ・体調が悪いときはしっかり体を休める
- ・軽い症状ならば自宅安静が大切です。心配して不用意に救急センターなどを受診すると逆にそこで感染する場合もあります。
- ・不要不急の外出、特に30分以上同じ場所で、狭い空間で、人と話をするなどの場面はなるべく避けましょう。

〈電話相談〉

最寄りの帰国者・接触者相談センター、熊谷保健所

平日の日中 ☎ 048-523-2811

土・休日の日中 ☎ 048-830-3557

夜間：#7119又は ☎ 048-824-4119



こばやし小児科